

アニメ美術監督・山本二三さん

背景画の魅力語る

ハーバーランド

日本を代表するアニメーション美術監督、山本二三さん(58)のトークイベントが13日、神戸ハーバーランドであり、制作秘話や背景画の魅力などを語った。神戸ビエンナーレ(23日まで開催)の関連イベント。

山本さんは長崎・五島列島生まれ。「火垂るの墓」や「天空の城ラピュタ」など、高畑勲さんと宮崎駿さんらのアニメ作品の美術監督を務めた。

宮崎さんとは24歳の時

に「未来少年コナン」の美術監督に抜てきされて



背景画の魅力について語る山本二三さん＝中央区東川崎町1

ることが多かったが、「いいものを作ってやるう」と奮起したという。

アニメ映画版「時をかける少女」では、主人公の家を描くのに緻密な間取り図まで作って細部にこだわったといい、「完璧に近い作品ができた」と振り返った。絵が上達するには何枚も描き続けるしかなく、「火垂るの墓」では、スタッフが夏の空を描くのに約200枚も描き直したというエピソードを披露した。

明石市立魚住東中1年の池下竜太郎君(13)は「絵の描き方を知りたい機会になった。自分も人を引きつけられるような絵を描きたい」と話していた。

(足立 聡)

以来の付き合い。「君のる」「自分の怒りを絵に絵は隙がなく、窮屈すぎ表すな」などと注文され